

活動報告

団体名	西原村木もくプロジェクト
活動名	仮設住宅及び地域での木工を通じた住環境改善・生きがい創出活動
活動期間	2017年3月～2017年9月
活動の成果	<p>本助成の活動開始時は、震災発生から約1年が経った頃で、仮設住宅やみなし仮設住宅の暮らしには慣れたものの、収納スペースの少なさや入口の段差など、仮住まいの住環境に不自由さを感じる方が多かった。約7ヶ月間、個別ニーズに応じた棚や家具づくりを計21世帯、手すり設置や段差緩和など仮設団地内の住環境改善を計11件、その他簡易修繕等を行った結果、2017年9月現在、住民からあがるニーズにはほぼ対応し終え、仮住まいの住環境はある程度整ってきたように思う。</p> <p>村内イベントや仮設集会所では計3回木工小物づくり活動を行い、老若男女・各年代に、ものづくりの楽しさを感じてもらい、木に触れることで木育の機会にもなった。</p> <p>上記活動を通じ、住民自身が、自らの生活をより良くしていくことへの自信や、復興への前向きな姿勢につながったように思う。建築士との連携による解体家屋の思い出保存や住宅相談については、想定した程多くの方にアプローチできなかった。今後、仮住まいから新たな住まいへ移行していく時期であるが、その移行において取り残される住民がいないよう、引き続き建築士と協力をしながら、一人一人の再建のサポートに取り組んでいきたい。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>この度は、西原村木もくプロジェクトの活動に助成をいただき、誠にありがとうございました。皆様のご寄付により、個々のニーズに応じた木工ものづくりを展開し、継続して活動することができました。老若男女問わず、沢山の西原村住民の方とともに作り上げたものは、モノだけではなく、大きな感動や希望、そして喜びをもたらしてくれました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。</p>

(活動のようす)

